

何をまとして生きていく？

[アーティスト]

[テキスタイルアーティスト]

[フリースクール アウラ学びの森代表]

ピュ〜ぴる × 奈良平 宣子 × 北村 真也

日時：2012年11月3日[土・祝] 18:30～20:30[開場18:00]

会場：みずのき美術館 JR嵯峨野(山陰)線 亀岡駅下車 南口より徒歩8分

定員：50名[要予約、定員になり次第締切]

入場料：800円[みずのき美術館入館料含]

集団の中で、自分は誰とも違う、どれでもない・・・と感じる自分はいないだろうか

決まりきった定義に自分を当てはめて生きるのは苦しい

決まりきった枠組みに合わせて生きるのは苦しい

自分でも知らない心の底の底には何がある？

表(おもて)に現れないもの、少しぐらい覗き込んだぐらいでは到底見えないところには何がある？

以前、ピュ〜ぴるは

「自分は心がまるっきし女の子というわけではなく、きわめて中性的というか、男でも女でもない存在に思える。けれども日本社会で生きていくには、その在り方は非常にむづかしいので、意識的に女性へと身体の状態を変えていった」と言っています

性の不一致感・・・を抱きながら、この社会で、自分とは何者なのかを問い続ける存在のあることを知ってほしい

意識的(心の表側)には苦しい哀しいものばかり・・・そんな時を何とか超えて・・・そのあとには途方もないものが生まれてくることだってある

現実的には“沈んでいる”日々から生み出したものが、思いがけない“奇跡”を生み出す

ピュ〜ぴると、そして、一見普通の男、北村真也、普通の女、奈良平宣子、しかし掘り下げていくと、やはり3人3様にアウトサイダーなるものが詰まっている！そんな3人が世に出るために“まとうもの”について、そして、それぞれの“挑戦”について語り合います



ピュ〜ぴる

性差を超えた類稀なる存在として、近年世界的な評価を受けている。

その活動は現代美術だけに留まらず、アートディレクション・キャラクターデザイン・衣装デザイン・女優・執筆等多岐に渡る。

ピュ〜ぴるの紡ぎ出す作品の特徴として「生と死」「男と女」「自と他」「加害と被害」等の対立する概念を、作家自身の体験や思考を通じて自身の中に取り込み、自らが作品と同化することで、更に高次の概念へと昇華し、具現化される。現在、INSTALLATION・MOVIE・PERFORMANCE・PORTRAIT・SCULPTURE WORKSを独自の世界観で創り続けている。

2011年、松永大司監督・ドキュメンタリー映画『ピュ〜ぴる』公開。



奈良平 宣子(ならひら のりこ)

京都市立芸術大学専攻科修了。

テキスタイルアーティスト、京都嵯峨芸術大学名誉教授。

2012年 Miniartextil (イタリア)、2011年・2005年国際テキスタイルトリエンナーレ(ベルギー)、2010年国際タペストリートリエンナーレ(ポーランド)、2009年国際テキスタイルトリエンナーレ(ハンガリー)他海外展多数出品、国内における個展多数。



北村 真也(きたむら しんや)

人間科学修士。日本教育カウンセリング学会、対人援助学会会員。専門は学習理論研究。教育学、心理学、社会学と学際的な研究活動とフィールドワークをおこなう。2000年京都府亀岡市に自らの研究フィールドとして「グローバル教育研究所」を設立、同年、学びの共同体「アウラ学びの森」、2005年には京都府教育委員会認定フリースクール「知誠館」を開校し、自らの理論研究と教育実践を通して新しい学びのモデルの実現をめざす。また、文部科学省、京都府教育委員会、京都府青少年課の委託事業を受託し、行政と共に教育、心理、福祉に関わるプロジェクトを企画実行している。著書、論文として『学習塾がおもしろい』一光社、『そだちと臨床-私塾の可能性を模索する』明石書店、『ポストモダンな学びの構築』立命館大学がある。

開催中の展覧会

開館記念展「日本のアール・ブリュットについて語ろう
～私たちが考えるこれからの美術～」

会期：2012年10月8日[月・祝]～2013年3月17日[日]

監修：保坂健二郎[東京国立近代美術館主任研究員]

入館料：一般400円／高大生200円／中学生以下無料

開館：水曜日～日曜日 10:00～18:00

休館日：月・火曜日[但し祝日の場合は開館]

次回予告 順次詳細が決まりましたらお知らせします。

■2012年12月9日[日]

トーク&ライブイベント

ゲスト：大友良英[音楽家]

会場：みずのき美術館

[会場は変更場合があります]

■2013年3月10日[日]

講演会「無意識と創造性」[仮題]

講師：きたやまおさむ[精神科医・作詞家]

会場：みずのき美術館

[会場は変更場合があります]

参加申し込み・問い合わせ先 メールまたはファックスにて「氏名」「住所」「連絡先(TEL)」をご記入の上、下記までお申し込みください

みずのき美術館 〒621-0861 京都府亀岡市北町18 TEL 0771-20-1888 FAX 0771-20-1889
E-mail info@mizunoki-museum.org URL www.mizunoki-museum.org